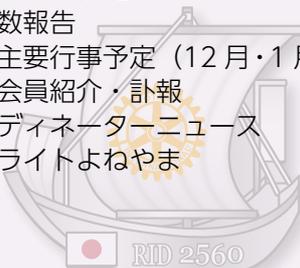


ガバナー一月信



月信12月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 地区大会報告
- ③ 第21回ライラ研修開催報告
- ④ 第6分区 IM 開催報告
- ⑤ 第7分区 IM 開催報告
- ⑥ 米山記念奨学委員会報告
- ⑦ 米山記念奨学生親睦交流会
- ⑧ 面接官オリエンテーション
- ⑨ 学友会総会
- ⑩ 学友会活動（下山中学校訪問）
- ⑪ 祝完成 ドナルド・マクドナルド
ハウスにいがた
- ⑫ 会員数報告
- ⑬ 地区主要行事予定（12月・1月）
- ⑭ 新入会員紹介・訃報
- ⑮ コーディネーターニュース
- ⑯ ハイライトよねやま



国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度

高橋ガバナー事務所

〒950-8053
新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 ガバナー
高橋 秀樹 (新潟 RC)

皆様こんにちは。皆様の御支援、御協力の御蔭をもちまして、去る 11 月 12、13 日に地区大会を無事に開催することができました。心から感謝し、御礼申し上げます。地区大会は地区のロータリーファミリーの皆様全員のためのものです。当地区の現状を確認すると共に、当日行われました各種講演から得た知見を、ぜひ今後のロータリー活動に活かして頂ければと思います。

さて、今回の地区大会では、SDG's のために、1 日目の RI 会長代理歓迎晩餐会、2 日目の昼食と親睦交流会では、新食材と新潟県産の食材を用いたお食事を提供させていただきました。ロータリー財団の重点分野の中に、「地域経済の発展」と「環境の保護」がありますが、地産地消と新食材は、まさにそのような重点分野に関わるものかと思えます。

新潟が全国に誇る産品というと、たちどころに米、酒、鮭、金属器、ル・レクチェ、錦鯉など様々なものが思い浮かびます。これからも益々県内外、国外での発展が望まれると共に、私たち自身も自県の産品を用い、地域産業の活性化に寄与していきたいものです。

ところで、公式訪問の折、村上岩船ロータリークラブの皆さんが赤い名札をつけていることに気づきました。ひょっとしてと思い尋ねてみたら、やはり村上堆朱の製品でした。新潟が誇る伝統工芸品をこのように使用しておられるのは素晴らしいと思いました。

また、新潟の伝統的な産品として織物も大いに注目したいところです。越後の織物は古くから評価が高く、8 世紀に朝廷に献上されたものが正倉院に収められていますし、上布の最高級品として「東の越後、西の宮古」と言われるほどでした。現在でも、小千谷縮、塩沢紬、小千谷紬、本塩沢、十日町緋、十日町明石ちぢみ、亀田縞などよく知られています。せっかく新潟に住んでいるのだから、もっと着物を着る方が増えればよいのにと、ときどき感じます。津南ロータリークラブの高橋主計さんがよく着物を御召になってロータリーの会合にいらっしゃることは多くのかたがご存知かと思えます。また、ロータリークラブの中には着物を着てお食事会に集まる同好会もあるようです。

吉田クラブの公式訪問の折、高島屋さんでの晩餐会にお招き頂いたので、着物を着て出かけたところ（写真 A）、会員の佐藤良一さんが粋な着物姿で歓迎して下さい、大変嬉しく思いました（写真 B）。ちなみに私が着ていた着物は、佐藤さんの御子息のお店である新潟市古町の『和 gen』さんで仕立てたものでした。

ところで、そのときに付けていた袴は、村上の山辺里で織られた生地で仕立てたものです。袴の生地は和服の生地の中なかでも特殊なものです、質の良いものの生産地は全国でも限られています。「山辺里平」と呼ばれる袴の生地は新潟が全国に誇るものでしたが、残念なことに現在では途絶えてしまいました。どんなに素晴らしい品であっても、多くの人が用いてくれないと、どうしても継承していくのは難しいのだらうと思います。

これから年末年始を迎え、和服を着るのにより機会が多いと思います。改めて日本の伝統衣装である和服に袖を通し、愛でてみてはいかがでしょうか。

最後となりますが、本年の御支援、御協力を感謝申し上げますと共に、良いお年をお迎えくださいますようお願い申し上げます。





地区大会を終えて ご報告

国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 地区大会実行委員長
本間 彊 (新潟 RC)

木々の葉が色づく錦繡の秋、見事な快晴に恵まれ地区大会初日は幸先の良いスタートを切りました。高橋秀樹ガバナー年度の地区大会は、令和 4 年 11 月 12 日、13 日と 2 日間にわたり 1 日目はホテルイタリア軒、2 日目は ANA クラウンプラザホテル新潟にて開催されました。ガバナーの「再生・新生・共生」をテーマに、それを具現化する地区大会でもありました。

山田邦子 RI 会長代理（前橋 RC）ご夫妻を迎え「イマジン・ロータリー」について、ロータリアンに、より良い明日を想像して行動することなど、その本質を分かりやすく講演して頂きました。1 日目の地区指導者育成セミナーでは、「ロータリー財団について」と題しロータリーコーディネーターの橋岡久太郎様（佐倉中央 RC）より講演して頂き、さらに「米山記念奨学事業について」と題し（公財）ロータリー米山記念奨学会 前副理事長の水野功様（東京飛火野 RC）からご講演を頂き、指導者研修にふさわしい学びとなりました。この模様は YouTube にて配信致しておりますので個々のロータリアンや各クラブ例会でもご活用することが出来ます。それぞれ約 30 分ずつと使いやすく致しました。

1 日目の RI 会長代理の歓迎晩餐会はホテルイタリア軒の心づくしのフランス料理に工夫を凝らし、地産地消をベースに、魚介料理と大豆ミートを使ったパスタなど自然、環境など SDGs を意識した内容で提供して頂きました。2 日目の ANA ホテル新潟の昼食も同様に、大豆由来の豚肉風、蒟蒻とお米を混ぜ合わせたご飯のカツ丼を苦心の末、完成して頂き評判も良かったように思いました。

2 日目の本会議では記念講演として「これからのニッポン、新潟の地域力を高める」と題し新潟県の各市町村にも詳しい里山資本主義でお馴染み、地域学の泰斗、藻谷浩介先生より熱弁を振るって頂きました。講演を聞かれた各クラブの方々からパウポのデータがほしいとの声がありました。ご利用になりたい方はガバナー事務所にメールにてご依頼ください。

ガバナー事務所 メールアドレス：h.takahashi@rid2560niigata.jp

講演をもう一度お聞きになりたい方は、YouTube でアーカイブがご覧頂けます。

地区大会も終盤になり楽しい公演は、新潟市出身で元宝塚のスター、越乃リュウさんのステージを用意しました。満席の会場に響く歌声に感動された方も多かったようです。オンライン配信でご家族

共々ご覧になられた方もおられたそうです。最後の親睦交流会は和やかに、コロナを一瞬忘れて楽しく過ごしました。フィナーレは「手に手つないで」を何年ぶりかで全員で合唱しました。ただし手はつながずに、マスク越しではありましたが生き生きとした皆さんの表情はやはりロータリアンそのものでした。なおソングリーダーは越乃リュウさん、特別出演でした。

「シンプルに、有意義に、そして楽しい」地区大会を目差し、ロータリーを学ぶこと、社会を見つめ文化と親しむこと、などがプログラムに反映されそれが会員同士の「共生」に繋がり明日の糧になればと思う次第です。一方、地区大会は一大事業のため予算は嵩みますが、始めにやりたいことを整理しつつ予算案を作成し、厳しい予算統制を行った結果、収支バランスは堅調に推移しております。各クラブ、関係各位のご協力のおかげとお礼を申し上げます。さらに次年度開催クラブの三条北ロータリークラブさんへとバトンをお渡し致します。

ご出席されました会員各位とご家族の皆様、オンラインにて参加して頂きましたすべての皆様、そして最後に共に汗を流した新潟ロータリークラブ会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

【 地区大会アーカイブ 】

1日目 2022年11月12日(土)

ロータリー財団講演 <https://youtu.be/77hgMcBBC44>



米山記念奨学会講演 https://youtu.be/jw_dYCPQ0AU



2日目 2022年11月13日(日)

本会議 <https://youtu.be/jnD83xreEc0>







第 21 回ライラ研修開催報告

国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 ライラ研修実行委員長
小川 信正 (新津中央 RC)

2022 年 10 月 23 日 (日) 午前 9 時半から新潟市秋葉区新津地域交流センターにおいて、新潟県内の 25 クラブから 66 名の研修生が参加し、第 21 回ライラ研修が開催されました。今年は昨年に引き続き COVID-19 感染拡大防止のため、研修生の健康と安全を考慮して全て ZOOM 形式での開催となりました。

新津中央ロータリークラブは過去に 2 回ホストクラブとしてライラ研修の経験があります。この度もグループ協議を主体とした研修計画を立て実行委員会を開催してきました。本来であれば研修生の皆様方が一同に集い、花と鉄道と自然豊かな町、新潟市秋葉区で楽しくコミュニケーションをとりながらの研修となるはずでしたが、そのような決定ができなかったことを本当に残念に思います。

さて、今回の研修テーマは『リーダー』としました。事前に研修生に講師の守屋 淳様の現代語訳「論語と算盤」を贈呈し、熟読してもらって研修に参加して頂きました。講演は全部で 2 つ用意し、午前の部は特別講演として守屋淳様より、2024 年に一万円札の顔になることが決まっている日本が誇る偉大なリーダーであった渋沢栄一にまつわる話を中心に「今、渋沢栄一に学ぶ」と題して講話を頂きました。現代にも通ずる経済界や社会生活において欠如している「論語と算盤」について語って頂きました。



講師：守屋 淳 様



講師：阿部 正機 様

また、午後の部は、仏教上の偉大なリーダーであった「仏陀の教え」を元に、地元の宗教法人観音寺の住職でおられる阿部正機様より仏教におけるリーダー論を講話して頂きました。

今回のテーマを通じて、次代のリーダーたるべき研修生の皆さんが、自身のリーダーとしての進むべき道を明確に理解し、また1つでも多くの気づきを得ていただけたら幸いです。そして、コロナが一刻も早く終焉し、従来型のグループ協議を組み込んだライラ研修が出来るよう祈念して報告とさせていただきます。



関根功雄青少年奉仕委員長 挨拶





第6分区インターシティー ミーティングが開催されました

国際ロータリー第2560地区
2022-23年度 第6分区ガバナー補佐
富山 洋 (雪国魚沼RC)

昨年はコロナの影響で中止となりましたが、2022-23年度は皆様のご理解とご協力により感染対策を実施しつつ10月29日に第6分区IMが開催されました。

当日は雨模様で足元の悪い中、70名の方々から雪国魚沼の地にご参集頂きました。

テーマは「共生と寛容、ロータリアンとして誇りを持って活動しよう」であり、高橋ガバナーからも動画にてご挨拶を頂き御礼申し上げます。

内容は開会式セレモニーの後、小千谷、越後魚沼、雪国魚沼、十日町、十日町北、津南の各クラブ会長より現状と課題、これからの戦略を発表して頂きました。共通した課題は会員減少であり、戦略としては会員にとって楽しいクラブ、居心地の良いクラブを創っていくということでした。その後、「観光」という切り口でこの地域を考えてみようということで、南魚沼市長林茂男様より「これからの広域観光の在り方」というテーマでご講演頂き、魚沼と隣縣市町村との連携、ふるさと納税での人気度など今後の明るい未来像をお話し頂き大変元気をもらいました。続いて林市長、(株)自遊人代表岩佐十良様、雪国観光圏代表理事井口智裕様、十日町観光協会代表理事柳一成様をお招きし「魚沼地域の魅力とは」というテーマでパネルディスカッションを行いました。

この地域では、現在は未だ一部しか活かされていないが、今後様々な分野での文化・スキルがポテンシャルの高い資源となる可能性を見据え、私たちロータリアンは職業を通じて地元へ奉仕することが地域の明るい未来を創造していくことを改めて認識するに至りました。

第2部の懇親会では、敢えてクラブごとのテーブルではなくランダムに席を用意させて頂き、より活発な交流を図ることが出来ましたし、参加された方々は地産地消のお料理とお酒を堪能されたことと思います。

今回のIMが各クラブの連携を深め、ロータリアンで良かったと感じていただけたら幸いです。派手なアトラクションはなかったですが、中身の濃いミーティングを目指し、実現できたことを参加された皆様に、そしてホストクラブである雪国魚沼の仲間と会場であるホテル坂戸場様に感謝申し上げます。大変ありがとうございました。





第7分区 IM 開催の報告

国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 第7分区ガバナー補佐
本山 秀樹 (高田 RC)

妙高連山の火打山、焼山の初冠雪と高田城址公園の桜の木々の紅葉が始まる中、去る 10 月 22 日に第7分区 IM が高田ロータリークラブをホストクラブに上越市内デュオ・セレッソを会場として開催されました。この IM には、公務ご多忙の中、上越市長中川幹太様、パストガバナー大谷光夫様をご来賓にお迎えし、第7分区7クラブから130名を超える多数のロータリアンの皆様からご出席いただきました。COVID-19も3年目に入りロータリー活動も制限される中、昨年につき今年も感染予防に万全を期しリアルで開催され、第7分区の会員が一同に会しロータリーの友情を深める機会を持てたことは喜ばしい限りでした。式典後の記念講演では、郷土の偉人で児童文学者、小川未明生誕140周年を記念し小川未明研究者として第一線で活躍される上越教育大学小笠裕二先生からご講演いただきました。小川未明の作品に見られる人間愛、相互扶助の考えは、ロータリーの奉仕の精神に共通するところがありました。そして、記念事業として児童生徒等が先人に学び、これからの人生の羅針盤になればと思い、小川未明2作品を上越市内全小中学校に寄贈しました。また、懇親会では、アトラクションとして三味線プレイヤー史佳 Fumiyoshi さんをお迎えし、なかなか会えなかった旧知の方々と友情を深める親交の場となり大いに盛り上がりました。

また、IMの前週に妙高カントリークラブにて第7分区 IM 記念ゴルフ大会を50名の参加で開催しました。午前中は天候にも恵まれ紅葉の妙高山をバックに皆さん実力を発揮され楽しいゴルフ大会でした。

結びになりましたが、ホストクラブの高田ロータリークラブと、ご参加頂きました皆様の益々のご健勝とご活躍、ご発展をご祈念申し上げ報告といたします。





米山記念奨学委員会および 米山学友会報告

国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 米山記念奨学委員会 委員長
渡邊 嘉子 (新津中央 RC)

日頃よりロータリアンの皆様には米山記念奨学事業にご理解とご協力をいただきまして厚く御礼申し上げます。

10月は米山月間ということもあり、10月、11月と多くの活動を実施いたしました。まとめて報告させていただきます。

《委員会活動》

- ・10月 8日(土) 第1回米山記念奨学委員長セミナー (こちらにつきましては月信11月号に掲載)
- ・10月 29日(土)～30日(日) 米山記念奨学生親睦交流会 … ①
- ・11月 5日(土) 面接官オリエンテーション … ②
- ・11月 5日(土) 米山記念奨学生学友会総会 … ③

《学友会活動》

- ・10月 26日(水) 下山中学校交流会 … ④ の活動をいたしました。
後ほど各小委員長・担当者から報告いたします。



地区大会で活動報告

今後の活動予定といたしまして

《委員会活動》

・ 12月24日(土) 2023学年度米山記念奨学生 書類選考
2023年

- ・ 1月14日(土) 2023学年度米山記念奨学生 面接・選考会
- ・ 2月4日(土) 第2回米山記念奨学委員長セミナー
- ・ 3月4日(土) 米山記念奨学生終了式・歓送会

《学友会活動》

- ・ 12月3日(土) 国際料理交流会
- ・ 12月24日(土) クリスマス会、を予定しております。

世話クラブ・カウンセラーの皆様はじめロータリアンの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

米山記念奨学委員会は今年度はもちろん、次年度へ向けても活動が始まっております。

選考会ではロータリアンの皆様からの浄財を、将来母国と日本の架け橋となって国際社会で活躍するような優秀な学生を選考すべく面接官一同気を引き締めて参ります。

今後とも米山記念奨学事業にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、先日の地区大会では皆様から心のこもったご寄付をいただきました。

地区大会1日目 56,061円

地区大会2日目 38,300円 合計 94,361円

米山記念奨学会へ2560地区として送金いたしました。

ありがとうございました。



地区大会寄付受付



①米山記念奨学生 親睦交流会について

国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 米山記念奨学委員会 奨学生・学友委員長
渡辺 雅志 (長岡西 RC)

10月29日、30日の一泊二日で米山記念奨学生親睦交流会が行われました。
新型コロナウイルスの影響で8月から延期になっていたのですが今回無事に開催できました。

米山奨学生22名をはじめ高橋ガバナー、カウンセラー、地区米山委員そして今回は奨学生を終了した学友の3人も参加しての総勢52名で魚沼方面へバスで向かいました。

1日目は石川雲蝶の彫刻で有名な西福寺、幼少期の直江兼続が預けられた雲洞庵、八海醸造 魚沼の里を見学し、湯沢温泉ホテル双葉に宿泊しました。

夕食時では各自自己紹介から始まりとても有意義な懇親会になったと思います。奨学生もカウンセラーも、そして先輩学友も混ざっていろいろな話をして横の繋がりができたのでこの先の学友会活動に必ず生かされるはずです。



2日目は清津峡に足を運びきれいな紅葉とトンネルからの景観の写真を撮りあっていました。それから湯沢の大源太でそば打体験をしました。それぞれのグループで自分たちの打ったそばを責任をもって昼食として食べました。

新型コロナの影響で3年振りの開催となった親睦交流会ですが、米山記念奨学事業の使命のためにはとても有意義な2日間だと改めて感じました。





②面接官オリエンテーション について

国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 奨学生選考委員長
小林 達 (新潟北 RC)

国際ロータリー第 2560 地区米山記念奨学委員会は 11 月 5 日 (土)、ホテルオークラ新潟で 2023 学年度米山記念奨学生選考会の面接官オリエンテーションを開催致しました。

米山記念奨学事業の使命と事業の目的を確認し、米山奨学生としてふさわしい学生を採用するために、面接官としての心得と採点における留意事項を出席の全面接官が共有しました。

また、オリエンテーションでは、面接時の不適切な質問の認識とそれを適切な質問に変える工夫・事例についての確認。申込者の経済状況は、真偽を見極めることが困難であることから、選考対象にしないことなど、確認しました。

渡邊嘉子米山記念奨学委員長は「応募者の書類を 5 ～ 6 回と読み込んでから面接に臨んでほしい。また、例会や地区の活動に積極的に出席できる学生を採用して欲しい。」と話しました。

2023 学年度の米山記念奨学生は、第 2560 地区割当数 23 名、新規採用数 16 名に対して指定校応募の申込者は、48 名です。

書類選考会は、12 月 24 日 (土)、面接選考会は来年 1 月 14 日 (土) 万代シルバーホテルにて行われます。





③米山記念奨学生学友会総会

国際ロータリー第 2560 地区

2022-23 年度 奨学生・学友委員会 委員

宮嶋 正明 (新発田 RC)

11月5日(土)に当地区の米山学友会^{#1}総会がホテルオークラ新潟にて開催されました。

実際に多くのメンバーが会場に参加する学友会総会は3年ぶりで、学友会の金会長をはじめ米山学友10名、米山記念奨学生21名(うちオンライン参加7名)が集いました。

事業報告では新潟市立下山中学校での学友会事業(内容は本月信内に別掲)も報告されました。COVID-19禍で停滞していた学友会の奉仕活動の再開は明るいニュースとなり、参加者みなさんに元気を与えていました。総会後には和やかに、そしてクイズ大会などのアトラクションも皆で楽しみながら、和やかに懇親会を開催しました。

1週間前に地区内の奨学生とカウンセラーさんとの米山記念奨学生親睦交流会(内容は本月信内に別掲)で交流を深めて仲良くなった奨学生たちでしたが、この会ではさらにコミュニケーションを深めて、大いに懇親を深めていました。

先輩にあたる米山学友^{#2}の皆さんから、奨学期間終了後は世界のどこにいても必ず米山学友会に入会すること、学友になってからが母国と日本の架け橋を担う本番が始まることを奨学生にご教示いただき、奨学生もしっかりとその理解を深めることができた、有意な総会となりました。

#1 日本国内に33、海外に9つ、併せて42の学友会が組織され、活動しています

#2 奨学期間を終了した米山記念奨学生を米山学友と言います





④新潟米山学友会の事業へ お手伝いしてきました。

米山記念奨学生

チャスナ

扎蘇那 (世話クラブ：新潟西 RC)

新潟米山学友会の活動が10月26日に新潟市東区の新潟市立下山中学校で開催されました。そこにお手伝いとして現役米山奨学生を募集していたので参加してみました。

新潟学友会理事の小島アムナさんの企画で、中学校生徒約10名と環境問題についての意見交換、プレゼンテーション交換を行いました。中学校では「Project “S”」と称してペットボトルキャップの回収と海岸清掃を行っています。“S”は校名の下山のSと、学校が海に近いことから海、SEAのSを掛け合わせたのだそうです。

学友会からは小島アムナさん（インドネシア出身）、チーチュンさん（ベトナム出身）、奨学生のペーテルさん（ハンガリー出身）、私（内モンゴル出身）の4人がそれぞれ出身国の環境問題、SDGsへの取組みなどを中学生の皆さんに紹介した後に、生徒たちの興味関心のある話題について英語で交流しました。その後も少人数に分かれてグループで話し合いをしました。私は生徒たちと、部活動や趣味等の様々な話題について幅広く交流するとともに、学校で行われている英語教育や海外の学校との交流会等について話し合いました。

今まで他の小中学校の国際交流活動や国際理解教育にも関わらせていただきましたが、下山中学校を訪問させていただくのは初めてでした。生徒たちは、環境問題や外国人との交流活動等に積極的な参加意欲を見せてくださり、今後もこのような活動に継続的に参加させていただきたいと思いました。

※奨学期間を終えた米山奨学生を米山学友と呼びます。国内はもちろん、海外にも当地区にも学友会があります。





祝完成 ドナルド・マクドナルドハウスにいがた

新潟東ロータリークラブ

2020-21 年度 マクドナルドハウス基金委員会

委員長 **水本 孝夫**

始まりは外部講師による例会卓話からでした。2019年9月2日に、当クラブメンバーの金子康弘さんの弟（昌弘）さんの紹介で斎藤昭彦教授（新潟大学医歯学総合研究科教授）と初めてお会いしました。私は斎藤教授の真摯さと、そのお話の内容に感銘を受けました。正にロータリーが取り組むに相応しい事業ではないかと思いました。当時の当クラブの安藤幸夫会長と相談し、例会での卓話をお願いしました。これがドナルド・マクドナルドハウスにいがた建設の募金の始まりとなりました。

「子供が難病にかかった場合、患者の家族は自宅と入院先との二重生活に強いられ、それによる経済的な負担や、家族が離れて暮らす精神的苦痛にも悩まされます。このような家族の負担を少しでも軽減すべく、病気の子供とその家族が利用できる滞在施設」がこのハウスです。

建設場所は新潟大学医歯学総合病院内の康楽会館跡地。募金目標額は1.8億円、開設時期は2022年4月予定でした。

この一大事業に対して当クラブだけでは限りがありますので、当時の大谷ガバナーにご相談致しましたところ、快くご理解を頂きました。

そこで、当クラブが作製しました「建設募金への協力をお願い」のDVDを地区内の各クラブへ配布して頂き、地区内の各クラブに協力を呼びかけさせて頂きました。お陰様で多くのロータリアンのご理解を頂き、コロナ禍にもかかわらず募金目標額をはるかに上回る浄財が集まりました。この場をお借りしまして感謝申し上げます。

そして当初予定の時期より少し遅れはしましたが、10月1日開設となりました。

10月14日、当クラブでハウスの内覧会をさせて頂きました。大学病院のすぐ前で、夜中に病院から呼び出しが来てもすぐに駆け付けることができます。日当たりが良く、10家族が宿泊でき、同時に3家族が食事を作れるようになっていて、家族がくつろげるリビングもあります。又、施設の運営はほぼボランティアが行い、ボランティアの登録者が300人以上いらっしゃるとのことでした。これは他の国内の11施設の中で、断トツで人数が多いとのこと。まさに新潟人の人間性の良さが分かりますね。

又、施設内には寄付された食品がありますが、利用者は好きなものを無料で食べられるようになっています。ただ消耗品なので食品関係の寄付については施設側としては大いに助かるとのことでした。

ハウス完成に3年の月日がかかりましたが、この施設でこれから多くの患者の方々の治癒に役立つのはもとより、ご家族の皆様のお役立ちができることと思います。ただ、ハウスの運営には金銭的にも人的にも多くの方々のボランティアが必要となります。当クラブとしましても今年度の大宮会長始め次年度佐藤会長と繋いでいき、何らかの形で今後も関わっていく方針です。

この記事を読まれた方でハウスの運営にご協力頂ける方はぜひよろしくお願いいたします。



第 2560 地区 2022-23 年度 10 月末 会員数報告

R	C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数				
				2022年 7月1日	10月末 会員数	うち女性 増減		
第1分区 (9クラブ)				-	372	380	35	8
		4	31.5%	88	89	0	1	
		4	20.5%	38	39	9	1	
		3	26.5%	33	34	1	1	
		4	91.5%	44	47	3	3	
		4	21.6%	38	37	3	-1	
		2	17.4%	23	23	2	0	
		3	4.3%	45	47	4	2	
		4	52.8%	36	36	7	0	
		3	25.0%	27	28	6	1	
第2分区 (9クラブ)				-	426	449	31	23
		4	24.4%	79	90	3	11	
		4	18.5%	63	65	8	2	
		4	32.5%	108	114	6	6	
		2	80.0%	5	5	0	0	
		4	47.5%	38	40	2	2	
		2	12.8%	38	38	4	0	
		4	29.7%	35	37	1	2	
		3	44.4%	18	18	0	0	
		4	52.4%	42	42	7	0	
第3分区 (5クラブ)				-	89	93	5	4
		4	11.1%	18	18	1	0	
		4	50.0%	10	12	0	2	
		4	29.0%	30	31	1	1	
		4	38.5%	26	26	3	0	
		3	0.0%	5	6	0	1	
第4分区 (11クラブ)				-	350	363	26	13
		4	10.5%	55	57	0	2	
		4	8.6%	33	35	2	2	
		4	6.7%	32	30	4	-2	
		4	17.9%	35	39	2	4	
		4	79.3%	29	29	4	0	
		4	5.0%	21	20	1	-1	
		3	3.6%	28	28	3	0	
		4	9.3%	54	54	2	0	
		4	3.7%	25	27	3	2	
		4	14.3%	6	7	2	1	
		4	5.4%	32	37	3	5	

R	C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数				
				2022年 7月1日	10月末 会員数	うち女性 増減		
第5分区 (7クラブ)				-	288	295	26	7
		3	73.9%	44	46	3	2	
		3	2.4%	40	41	0	1	
		3	26.4%	52	53	4	1	
		3	18.2%	43	44	3	1	
		4	13.6%	21	22	1	1	
		3	20.0%	49	50	3	1	
		3	23.1%	39	39	12	0	
第6分区 (6クラブ)				-	116	119	12	3
		3	27.3%	31	33	4	2	
		4	10.7%	28	28	4	0	
		5	19.2%	25	26	3	1	
		3	0.0%	14	14	0	0	
		4	25.0%	12	12	1	0	
		3	16.7%	6	6	0	0	
第7分区 (7クラブ)				-	313	316	22	3
		3	33.3%	70	72	4	2	
		3	37.0%	72	73	6	1	
		3	11.4%	35	35	1	0	
		4	67.5%	41	41	3	0	
		4	68.6%	35	35	3	0	
		3	55.6%	27	27	0	0	
		4	93.9%	33	33	5	0	

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,954 人
10月末会員数	2,015 人
女性会員数	157 人
純増減会員数	61 人
My Rotaryアカウント登録率	29.1 %

地区主要行事予定

2022年11月24日現在

年 月 日		行 事		会 場	
2022年 (R4) 高橋年度	12月	疾病予防と治療月間			
		3	(土)	ガバナーエレクト渡米壮行会・地区諮問委員会・地区運営会議	ANAクラウンプラザホテル新潟
		4	(日)	全国青少年交換・危機管理委員長合同会議	東京(対面+ZOOM)
		17	(土)	ROTEX会議・第1回派遣学生オリエンテーション・クリスマスパーティー	ホテルオークラ新潟
		18	(日)	IA献血キャンペーン	新潟市・上越市
※地区事務所・高橋G事務所・米山GE事務所は 12/28(水)から1/4(水)まで年末年始休暇です。					
2023年 (R5) 高橋年度	1月	職業奉仕月間			
		8~12	(日~木)	国際協議会	オランダ(米国フロリダ州)
		14	(土)	2023学年度米山奨学生選考会	万代シルバーホテル
		28	(土)	国際協議会報告・地区諮問委員会・第2回地区運営会議	ホテルオークラ新潟

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
田上あじさい	涌井マルベル	2022.10.1	(株)小彩(コイロ)	代表取締役	飲食店
新潟北	川崎 隆二	2022.10.3	(有)川崎保険事務所	営業部長	保険業
新潟南	大谷 昭子	2022.10.5	(株)オオタニ	代表取締役	印章製造
新潟東	スティーブソン・アロウ	2022.10.7	INFINITE HORIZONS	代表	国際教育業
新潟南	櫛谷 努	2022.10.26	クシヤ(株)	代表取締役	電気機械配布
長岡東	山田 喜嗣	2022.11.9	(株)QUADF00DS	代表取締役	飲食業

【訃報】

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
三条北	小林 幹扶	2022.10.8	(株)エフピーエム	取締役会長	生損保総合保険代理店、証券仲介業	



第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 今井 高志 (弘前)

私の所属している国際ロータリー第2830地区(青森)と隣の同第2540地区(秋田)は、人口減少率が日本で一番と二番の県である。そういう中で、ロータリーの会員数も減少を続け、2022年7月末現在の会員数は、第2830地区は1110人、第2540地区は1118人となっている。

2013年度規定審議会で改正されるまでは、「RI理事会は会員数が1200名未満の場合、地区の境界を変更することができる」になっていた。当時の第2830地区と第2540地区の会員数は1200名を下回っており、このままだと合併させられるとの思いから、2013年度規定審議会において、両地区の共同提案により、1200名未満から1100名未満に改正された。賛成288票、反対229票の僅差だったようである。

会員増強を図るためにどうしたら良いのか。一つの鍵はロータリーの公共イメージを向上させることだろう。各地区で、ロータリーの認識度調査を行っているが、その結果を見ると、ロータリーの名前を認知しているのは6割程度いるものの、詳細認知となると1割しかいない。認知されている活動も、会員の交流、地域の社会奉仕、募金活動などで、ロータリーの最優先事項である「ポリオ根絶」に至っては、認知度は10%を切っている。

対応策としては、各地区、各クラブで行われている素晴らしい奉仕活動を、今まで以上に多くの方を巻き込んで行うこと、そしてマスコミにも取り上げてもらうこと。その結果がロータリーの公共イメージの向上に繋がるのではないかと思う。

とくに、「ポリオ根絶」については、ロータリーの最優先事項として取り組んでいることをもっと知ってもらわないといけない。今年の世界ポリオデーは、佐藤RI理事の呼び掛けで、全国各地でイベント等が開催され、大いに盛り上がった。これを一過性に終わらせないで、来年10月24日の世界ポリオデーでは、全国各地で「赤いTシャツ」がやたら目立つようになりたいと思う。と同時に「ポリオ根絶活動」は普段から地道に行っていかなければならない。

ロータリーには「意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある」という目的があるが、ロータリーへの入会のきっかけ、動機、目的は一人一人違うだろうし、ロータリー観すら一人ひとり違うかもしれない。

そうであればこそ、ロータリーにとって「どんな活動をしているか」は重要なことである。ポール・ハリスが次のような言葉を残している。「ロータリーが私たちにとって何を意味するにせよ世界はその活動成果によってロータリーを知るのです」

まさにその通りだと思うが、私個人は活動成果の中には、当然「個人の言動」も含まれているのではないかと思う。当たり前ではあるが、個人的にも職業人としても素晴らしい人たちがいて、素晴らしい活動をしているところに、人が集まってくる(会員が増える)のではないかと思う。



第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 保延 輝文 (石岡)

今から20数年前、私がロータリーに入会し数年たった頃の事です。たまたまクラブの広報委員長になり、ガバナー公式訪問のクラブ協議会で、「広報委員会では、新聞記者との懇談会を開き奉仕活動を記事にさせていただけるようにしたい」と発表したところ、当時のガバナーより「そのようなことは必要ありません」と一蹴されてしまいました。その時の記憶が今でも鮮明に残っており、当時のロータリーの謙虚さがよくわかる思い出となっております。

時は過ぎ2年前に、ロータリー公共イメージコーディネーター補佐を拝命いたしました。公共イメージといってもまだ漠然としたイメージしかありませんでした。しかし、ロータリー公共イメージコーディネーターの会議を重ねるうちに、公共イメージを向上させる戦略、地区への支援の方法等への奥深さを強く感じた次第であります。

今年度、佐藤芳郎RI理事は10月24日の「世界ポリオデー」に全国の各クラブが、同日にポリオに因んだイベントを行うよう目標を掲げられました。公共イメージを向上させるためには、全会員が協力し、ブランド力を高めなければなりません。各地区が「世界ポリオデー」に参加し活動することは、会員相互の信頼・協力が生まれ、活発なクラブ運営につながると期待しております。

そのような中、今年度は新たに、第2地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐の桑澤一郎氏が立ち上げられました「世界ポリオデーポータルサイト」は、ポリオに関する資料、クラブ、地区同士の情報共有の場を提供されました。また、ポリオデーで行ったイベントに対するフォトコンテストも受け付けるサイトになっております。ファンディングや公共イメージアップには画期的なことだと思います。また新聞の全国版の一面にロータリーの活動、理念、ポリオへの活動等を掲載されたことは、さらに強くロータリーの公共イメージを高めたと思います。

私は今年度より、地区学友会委員長を拝命いたしました。インターアクト、ローターアクト、米山奨学学友、ローテックス等の学友の方々には、積極的に奉仕活動に参加していただき、ロータリーを少しでも理解を深めていただきたい。また、いかに広報活動が大切かを発信していきたいと思っております。それを踏まえて学友会の皆様には、将来のロータリーを担って頂きたいと思っております。

また私の地区では、数年前より特別仕様のロータリー広報車を公式訪問時に使用し、今も元気に街を走り回っております。一人でも多くの皆様にロータリーの活動を知っていただきたいと思っております。この様な一歩も公共イメージに大いに貢献すると確信しております。



第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 中川 高志 (大宮)

今年度から第1地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐を拝命しました大宮RCの中川高志と申します。よろしくお願いいたします。

2018-19 ガバナー年度終了後、昨年度まで3年間地区ロータリー財団委員長に就任していました。ガバナー前にも3年間ロータリー財団に出向していましたのでロータリー財団歴だけは長い部類に入るのではと思っています。今回は自己紹介を兼ねて地区ロータリー財団委員会(2770 地区では財団部門と呼んでいます)についてお話しさせていただきます。

ロータリー財団章典によりますと、「地区ロータリー財団委員会(District Rotary Foundation Committee)は地区の財団補助金および寄付推進活動に参加するようロータリアンの教育、意欲喚起、啓発を補佐する」と定義されています。委員会には、補助金、ファンドレイジング(寄付推進)、ポリオプラス、ロータリー平和フェロシップ、資金管理の5つの小委員会の設置を要求しています。

2770 地区では財団委員会の下、活動は財団部門委員長中心に行われています。地区補助金運営委員会を追加して6つの小委員会があります。地区内クラブからの卓話要請に対応し、誰でも卓話者になれるように年間6回程の部門全体の勉強会を開催しています。コロナ禍によりこの3年間は通年より減っていますが、およそ30クラブから卓話依頼を受けています。おかげさまで、寄付額は日本の地区内では上位にランキングされています。

補助金活動についても熱心に取り組んでいます。グローバル補助金プログラムも最近では年5~6件承認されています。地区補助金についてもほぼ100%プロジェクトに充てられています。

このように、2770 地区ロータリー財団部門は比較的熱心な活動ができていますが、その理由の一つに、ロータリー財団地域セミナーへの参加があげられます。一般的にはパストガバナークラスの方々が中心に参加されていますが、2770 地区ではロータリー財団部門委員だけでも12~13名参加しています。かなり質の高いロータリー財団情報を多くの委員と共有できる事は地区での活動の大きな原動力になります。ぜひ多くの会員がロータリー財団地域セミナーへ参加されることをお勧めします。

また、第1地域では、飯村RRFCのご発案で第1地域財団地区委員長会議が開催されています。新しい知識の収集、他地区との情報の共有、親睦を深める場として素晴らしい会議です。地区ロータリー財団運営に大いに役立つ会議だと確信しています。ZOOM開催なので負担も軽く、委員長のみならずロータリー財団に興味のある多くの会員が参加していただければと思っています。



秋の外国人叙勲 米山学友に旭日双光章

旭日双光章 ^{ライ ミンチュ} 頼明珠さん (1977-78/松戸RC)



作家・村上春樹作品の中国語（繁体字）版翻訳者として、これまで40冊を超える村上作品のほとんどを翻訳・出版。中華圏に広がる「村上春樹ブーム」の先導者として知られています。

(写真：公益財団法人 日本台湾交流協会より)

1. 2023 学年度奨学金申込み状況

10月15日に締め切りを迎えた2023学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士/地区奨励）には、指定校569校（地区を超えた指定校の重複を含む。前年度564校）から1,334人（1,298人）が推薦されました。

被推薦者の国籍・地域は、中国54.6%（54.2%）、ベトナム13.6%（13.8%）、韓国9.0%（8.8%）、

インドネシア2.9%（3.2%）、次いでマレーシア、台湾、モンゴルの順となっています。

課程別の応募状況は、博士課程17.5%（20.5%）、修士課程34.2%（33.3%）、学部課程44.6%（43.1%）です。なお、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、8地区17校から計34人の応募がありました。

2. 米山学友が多数 衛星クラブが待望の結成認可伝達式

11月6日、東京麹町ローターアクトクラブ、東京麹町スターロータリー衛星クラブの結成認可伝達式が都内ホテルにて開催されました。同衛星クラブは、今年7月にチャーターナイトを開催予定でしたが、急激なコロナの感染拡大で延期を余儀なくされていました。感染状況を見て、ようやく開催することができました。

当日は、当会から相澤光春副理事長が出席し、祝辞を述べました。^{キョウレイ} 龔雷さん（2007-08/横浜鶴峰RC）が初代議長（衛星クラブは会長と呼



ばず、議長と呼ぶ）を務める同衛星クラブには8人の米山学友が在籍しており、第2火曜日・第4水曜日に例会を開催しています。

3. よねやま親善大使が地区大会でスピーチ



11月6日、国際ロータリー第2520地区の地区大会が盛岡市内ホテルにて開催され、よねやま親善大使のアドゥアヨム・アヘゴ・アケテビさん（2014-15/新発

田城南RC）が参加しました。同地区の米山奨学生も出席した会場には、800人を超える参加者が集まりました。アヘゴさんは米山奨学生との懇親会に出席し、その後の本大会では清水努地区米山奨学委員長の紹介で登壇。約10分間のスピーチを行い、自身の義足師としての夢、米山への感謝を述べました。

4. 寄付金速報 — 米山月間へのご協力に感謝！ —

前年同期比

+ 14.0%

普 - 1.4% 特 + 25.6%

10月までの寄付金は、前年同期と比べて14.0%増（普通寄付金:1.4%減、特別寄付金:25.6%増）で、約7,090万円の増加となりました。単月

のみの比較では約680万円の減少となりましたが、9月の大口寄付の影響もあり、累計額においては増加の状態です。今回の米山月間にご協力をいただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。今年も残り2か月を切りました。引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

5. 「再会 in 関東」に向けチャリティー奉仕リレー

第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」（2023年8月5～6日開催）に向けて、関東10地区学友会による“チャリティー奉仕リレー”がスタートしました。

トップバッターとなった国際ロータリー第2770地区米山記念奨学部門学友会は10月2日、岩槻駅前にて募金活動を主催し、「貧困に苦しむ日本の子どもたちのための教育支援」を呼び掛けました。当日は8人のロータリアン、28人の米山奨学生・学友を含む、総勢40人が参加。募金活動で集まったお金は、NPO法人「Learning for All」へ寄付する予定です。

募金活動後は、岩槻駅前から岩槻城址公園ま



クリーンアップウォーキング後に集合写真

での約2kmを歩きながら、落ちているゴミを拾う「クリーンアップウォーキング」を行いました。この奉仕活動は今回が通算4回目となり、同地区内の浦和、与野、大宮、岩槻エリアにて活動。今後は上尾や戸田まで範囲を広げていく予定です。

奉仕活動に参加した田敏^{ジョン}さん（2009-10/越谷南RC）は、「参加者全員で力を合わせて呼びかけた結果、私たちの予想を上回る募金が集まりました。ご協力いただいた岩槻市民の皆さまに、心より感謝いたします。今後は奨学生に対して、奨学期間終了後も学友会にて活躍してもらえるよう、人材育成や支援にも力を入れてまいります」と述べました。



岩槻駅前募金活動を行う米山学友

もうすぐ締切

普通寄付金 申告用領収書の申請は 11 月末まで！

普通寄付金分の確定申告用領収証の申請期限は 11 月 30 日です。当会ホームページのメニュー、

寄付金について → 「普通寄付金：申告用領収書の申請はこちら」からお手続きください。

特別寄付金については来年 1 月下旬、自動的にクラブ経由で送付されますので申請はご不要です。